

保守とお手入れ

⚠ 注意 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

●ランプが点灯しない場合は次のことをご確認ください。

- ・スイッチが入っているか？
- ・ランプが切れていないか？
- ・ランプがソケットに確実にハマっているか？

●ご使用中に異常が生じたときは、ご使用になるのをやめ、速やかに電源を切って、お買い上げいただきました販売店・工事店へご相談ください。

お 願 い

- ◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。
- ◇ガラスはこわれやすい材料です。お取扱の際には、両手で静かに行ってください。
- ◇ぬれた手で器具に触らないでください。
- ◇点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。やけどをする場合があります。



お読みになりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。



アフターサービスのお問い合わせ

yamagiwa

商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買い上げいただきました販売店・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称」のイラストをご参照ください。

ヤマギワ リビナ本館	〒101-0021 東京都千代田区外神田 1丁目5番10号 TEL (03) 3253-5111 (代表)
東京営業部	〒101-0021 東京都千代田区外神田 1丁目5番10号 TEL (03) 3253-5143 (代表)
外商営業本部	〒101-0021 東京都千代田区外神田 1丁目5番10号 TEL (03) 3253-5150 (代表)
札幌営業所	〒060-0002 北海道札幌市中央区北二条西 1丁目10番地 TEL (011) 221-1321 (代表)
仙台営業所	〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院 2丁目1番61号 TEL (022) 227-1251 (代表)
横浜営業所	〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町 6丁目89番1号 TEL (045) 664-2871 (代表)
ヤマギワ 名古屋	〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵 1丁目22番20号 TEL (052) 931-2111 (代表)
名古屋営業所	〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵 1丁目22番20号 TEL (052) 931-3223 (代表)

ヤマギワ大阪	〒541-0058 大阪府大阪市中央区南久宝寺町 3丁目6番6号 TEL (06) 6258-6711 (代表)
近畿営業部	〒541-0058 大阪府大阪市中央区南久宝寺町 3丁目6番6号 TEL (06) 6258-6721 (代表)
金沢営業所	〒920-0901 石川県金沢市彦三町 2丁目1番45号 TEL (076) 222-6733 (代表)
高松営業所	〒760-0062 香川県高松市塩上町 3丁目8番11号 TEL (0878) 39-3195 (代表)
広島営業所	〒732-0057 広島県広島市東区二葉の里 1丁目1番68号 TEL (082) 568-5371 (代表)
福岡営業所	〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴 2丁目1番10号 TEL (092) 721-5661 (代表)
宇都宮出張所	〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷 6丁目7番16号 TEL (028) 638-1002
高崎出張所	〒370-0071 群馬県高崎市小八木町 2008番5 TEL (0273) 62-6920
静岡出張所	〒420-0072 静岡県静岡市葵区二番町 7番6号 TEL (054) 273-5305

所在地・電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

1080

T3D074A1

白熱灯ダウンライト

取扱説明書

ハロゲンランプ軒下灯

yamagiwa

このたびは、ヤマギワの照明器具をお買い上げくださりまして誠にありがとうございます。この説明書をよくごらんの上、正しく取り付け、正しくご使用ください。お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

●電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

目 次

- 1 ページ：照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意、お願い
- 2 ページ：定格表、部品名称と取付方法
- 3 ページ：照明器具ご使用についての安全上のご注意、ランプ交換のしかた、照射方向の調整方法
- 4 ページ：保守とお手入れ、アフターサービスのお問い合わせ

照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意

⚠ 警 告



火災のおそれがあります

- ◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。
- ◇電気工事は電気設備技術基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。

落下によるけがのおそれがあります

- ◇取付は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。
- ◇器具の取付けは、取付場所（天井）の強度を確認し、質量に耐える所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。

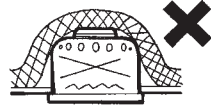
感電のおそれがあります

- ◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。
- ◇ランプの取付けの際には、必ず電源を切ってください。



火災のおそれがあります

- ◇器具に表示されている以外のランプを取付けしないでください。
- ◇断熱材・防音材でおおわないでください。
- ◇照射限度距離（0.5 m）以内にドアなどが接近しないように施工してください。



漏電火災のおそれがあります

- ◇器具を取付ける天井に凹凸がある場合は、器具取付部のパッキンが十分に押えられず防水・防湿性が損なわれますので、防水シール材で凹凸をなくし、平らな面に仕上げてください。

断熱材・防音材をご使用の場合の施工方法について

- 電気配線は断熱材・防音材の上側にくるようにしてください。
- 断熱材・防音材の上部は最低20cmの空間が必要です。
- 器具から断熱材・防音材まで距離を10cm以上はなしてください。
- 器具上部から天井裏までの距離も10cm以上はなしてください。
- 断熱材・防音材で器具本体の放熱穴等をふさがないようにしてください。



◇住宅の断熱施工された天井には使用できません。法律で禁じられています。

◇断熱材で覆わないでください。火災の原因になります。

◇住宅以外の建物に使用するとき、左図のように行って下さい。

⚠ 注 意

◇電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

◇器具に表示された定格電圧以内の電圧で、使用しないでください。

定格電圧を越えた電圧でご使用になりますと火災の原因となります。

◇取付けた器具を説明書に従わず無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。器具落下によるけがの原因となります。

◇住宅の断熱施工されている屋根や天井には使用しないでください。法律で禁止されています。

◇調光器に対応していない器具は、調光器を使用しないでください。器具破損・感電・火災の原因となります。

◇トリムリング・反射鏡ユニットやランプ等の着脱は、両手で静かに扱い、取付けは、確実に行ってください。

落下によるけがの原因となります。

◇器具の使用環境温度は5～35℃の範囲の所に設置してください。

誤って高温の所に設置しますと火災の原因となることがあります。

お 願 い

電気工事店様へ…工事が終わりましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

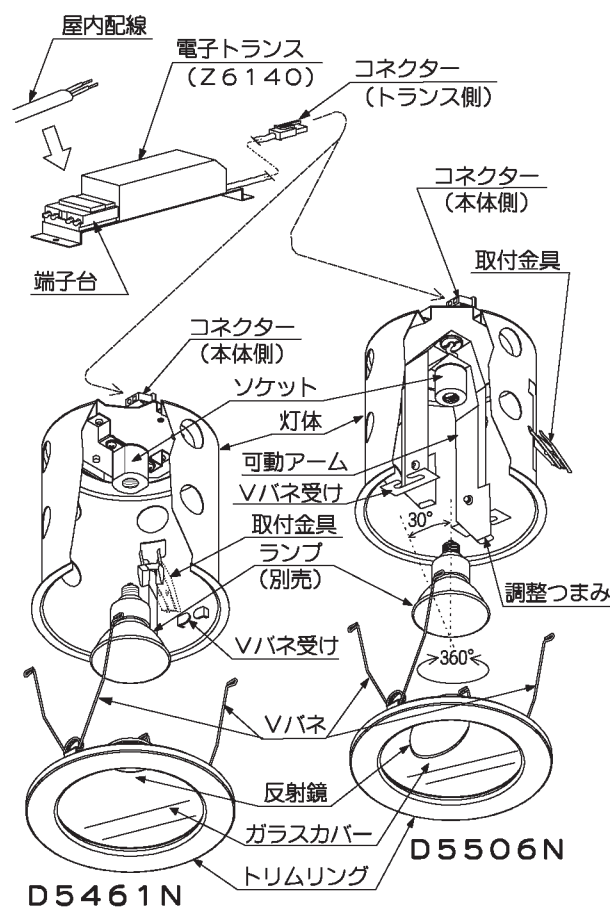
定格表

天井切込寸法	カタログ番号・型番	器具タイプ	寸法図	入力電圧	定格・適合ランプ	質量
115	D5461N 88DH-07G5-1N	M形ダウンライト 防雨形		12V	EZ10 φ50 ダイクロミックミラーランプ 12V 50W×1 (ランプは別売です)	0.6kg
	D5506N 88DP-01G5-1N	M形ダウンライト 防雨形 アジャスタブル		照射限度距離 0.5m	適合電子トランス Z6140:88UZ-21G1-Z0 12V50W用電子トランス	

本品の規格および外観は改良のため予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

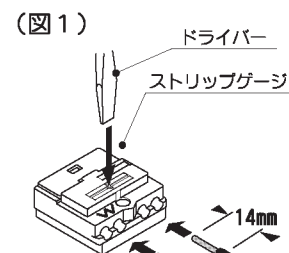
部品名称と取付方法

◇分解図 (図は器具を省略抽象化した共通のものです。) ◇取付方法



注：Vバネ・反射鏡・ガラスカバー・トリムリングで
一体のユニットになっています。

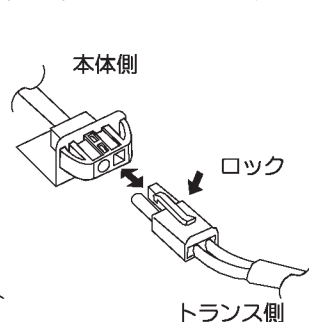
- 1) 取付まへの確認をする。
取付工事に入る前に必ず、電源を切って置いてください。
不備がありますと器具破損・感電の原因になります。
取付部の強度は器具質量に十分耐えるようにします。
強度が不足する場合は補強工事を行ってください。
不備がありますと器具落下の原因となります。
- 2) 切込寸法 (上記、定格表) に従って天井に丸穴をける。
切込寸法公差は±2mmとしてください。
不備がありますと器具落下の原因となります。
- 3) 屋内配線を電子トランスの端子台に接続する (図1)
屋内配線の芯線を14mm皮むきし、電子トランス上の即結端子台に接
続します。
接続が不完全な場合は火災・感電・不点灯の原因となります。
- 4) 電子トランスを天井裏に設置し、コネクタを接続する (図2)
あらかじめ、天井切込穴から電子トランスを天井裏に入れ固定します。
不備がありますと器具落下・不点灯の原因となります。
- 5) 器具本体を取付ける (図3)
器具本体を切込穴に入れ、取付金具で確実に固定します。
不備がありますと器具落下の原因となります。
- 6) ランプを取付ける。 (ランプは別売です)
3ページの「ランプ交換のしかた」に従って、ランプを取付けます。
不備がありますと火災・感電・不点灯の原因となります。
- 7) 照射方向の調整 (D5506Nの場合)
次ページの「照射方向の調整」に従い照射方向を設定してください。
- 8) 反射鏡・ガラスカバー・トリムリングを取付ける。 (図4)
反射鏡・ガラスカバー・トリムリングのユニットのVバネをVバネ受け
に取付けて、本体内部へ押し上げてください。
不備がありますと部品落下によるけがの原因となります。



適合電線
φ1.6 φ2.0 単線
送り容量：20Aまで

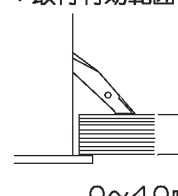
電線をストリップゲージに合わせ、被覆
をむいてください。
矢印の方向に、止まるまでぐっと差し込
んだあと、引っ張ってみて抜けないこと
を確認してください。
外すときは、解除ボタンをドライバー等
で押込んで外してください。

(図2) コネクタの接続

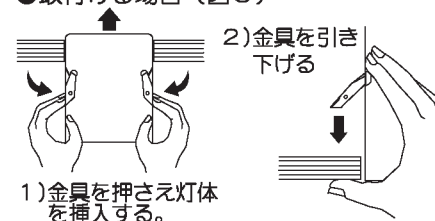


コネクタはロックされるまで
確実に差し込んでください。
外す時はロックを解除してから
抜いてください。

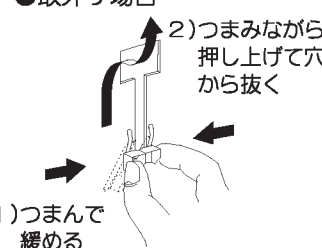
*取付有効範囲



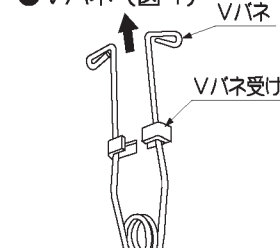
●取付ける場合 (図3)



●取外す場合



●Vバネ (図4)



照明器具ご使用についての安全上のご注意

⚠ 警告



感電のおそれがあります

◇ランプの交換や、器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。



感電・火災のおそれがあります

◇異常時 (煙が出たり、変な臭いがする時) には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店に
ご相談ください。



感電・火災のおそれがあります

◇器具及び部品の改造をしないでください。
◇器具のすきまに、異物 (金属類や燃えやすい物等)
を差し込まないでください。



やけどのおそれがあります

◇点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。



火災のおそれがあります

◇器具に表示されている以外のランプを使用しないでください。
◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。
又揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。
◇断熱材・防音材でおおわないでください。
◇被照射物との間には、最小で0.5mの距離をとってください。
ドア等の可動範囲にもかからないようにご注意ください。



⚠ 注意

◇ランプ及び反射鏡の着脱は、両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。

落下によるけがの原因となることがあります。

◇明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に (6ヶ月に1回程度) 清掃、点検してください。器具のネ
ジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べください。

◇器具の下に温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。

器具の変形や火災の原因となることがあります。

◇点灯中及び、消灯後はランプにさわらないでください。やけどの原因となります。



ランプ交換のしかた



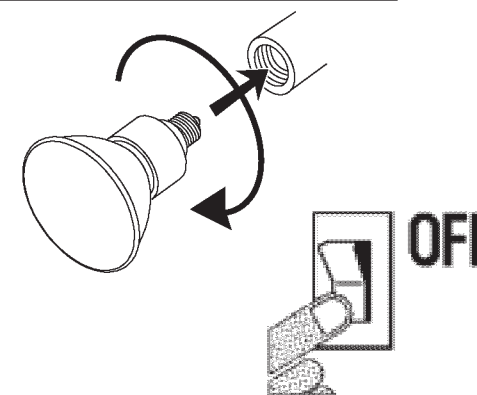
必ず電源を切ってください。感電・やけどの原因になります。

適合ランプ

EZ10 φ50 12V
ダイクロミックミラーランプ 50W×1

■ランプ取付上の注意

- 点灯中、消灯直後のランプは高温になっています、手をふれないでください。
また、ランプ交換の作業は、ランプが充分冷えてから開始してください。
やけどの原因となります。
- ご使用になるランプの種類・ワット数を上記「適合ランプ欄」もしくは、本
体に明示されたランプシールを参照して、ランプ交換の時には必ず、適合す
るランプを使用してください。
- ゆるみ、ガタ等がないようにソケットの奥まで差し込んでください。
不備がありますとランプの落下・不点灯の原因となります。



照射方向の調整方法

- 作業に入るときは、必ず電源を切り、消灯から約20分待ってから行ってください。
点灯中・消灯直後の器具内部、反射鏡およびランプは高温になっていますので、
やけどには充分ご注意ください。
- 最初に反射鏡・ガラスカバー・トリムリングのユニットを外します。
- 照射角度を調整する場合、アーム下部のツマミをもって、動かしてください。
- 照射方向を調整する場合、チルト方向30°、ターン方向360°以上可動しませんが無理に動かさないでください。
- ランプを持って力をかけないようにしてください。
- 作業中に本体の取付金具が緩まないようにご注意ください。緩んだ場合は今一度
締め付けて下さい。不備がありますと器具落下の原因となります。

